

シラバス参照

授業科目名	ノーマライゼーション
単位数	2
授業形態	講義
講義コード	5134
授業担当者氏名	伊関敏男(イセキ トシオ) 川内健三(カノウチ ケンゾウ) 齋藤麻子(サイトウ アサコ)

授業の到達目標 (ディプロマポリシーとの関連)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ノーマライゼーションについて説明できる。( DP2・DP3 ・DP5 )</li> <li>2. 障害に対する考え方について説明できる。( DP2・DP3 ・DP5 )</li> <li>3. 障がい者における法律について説明できる。( DP2・DP3 ・DP5 )</li> <li>4. 障がい者支援における関わり方について説明できる。( DP2・DP3 )</li> <li>5. 地域における障がい者支援の実際について説明できる。( DP2・DP3 )</li> <li>6. 当事者研究について説明できる。( DP2・DP3 )</li> </ol>																								
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ノーマライゼーションの経緯、概念などを学習する。</li> <li>2. 障害に対する考え方についてICIDH、ICFについて事例を交えて学習する。</li> <li>3. 障害者権利条約、障害者総合支援法など各種法律について学習する。</li> <li>4. 障がい者支援における考え方、支援方法について事例・演習を用いて学習する。</li> <li>5. 地域における各種支援方法について講義や実際の支援者を交えて学習する。</li> <li>6. 地域で生活する当事者の現状を当事者の話を伺い、かつ視覚教材も活用しながら学習する。</li> </ol>																								
科目ナンバリング	1-KKA-2-L14-2-1																								
科目ナンバリングについて	<p>科目ナンバリングとは、授業科目に各々の番号を付すことで、学問分野や学修の段階等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことで、科目ナンバーは次のように構成されています。</p> <p>1 - AAA - 1 - A01 - 1 - 1</p> <p>(1) (2) (3) (4) (5) (6)</p> <p>(1)設置 大区分(大学・短大) (2)設置 小区分(学部、学科、専攻等)</p> <p>(3)科目分類 大区分(共通科目、専門科目等) (4)科目分類 小区分(学問分野を体系化し分類) (5)配当学年</p> <p>(6)科目種別(卒業に係る必修・選択の区分)</p> <p>詳細は下記をご覧ください。</p>																								
科目ナンバリング参照ページ	<a href="https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/course_number/post_3.html">https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/course_number/post_3.html</a>																								
授業の特徴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>特徴</th> <th>該当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>B: 課題解決型(PBL)連携なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C: 討議(ディスカッション、ディベート等)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>D: グループワーク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>E: プレゼンテーション</td> <td></td> </tr> <tr> <td>F: 実習、フィールドワーク</td> <td></td> </tr> <tr> <td>G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>I: 反転授業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>J: 外国語のみで行われる授業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	特徴	該当	A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	○	B: 課題解決型(PBL)連携なし		C: 討議(ディスカッション、ディベート等)	○	D: グループワーク	○	E: プレゼンテーション		F: 実習、フィールドワーク		G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)	○	H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)		I: 反転授業		J: 外国語のみで行われる授業		K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業	
特徴	該当																								
A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	○																								
B: 課題解決型(PBL)連携なし																									
C: 討議(ディスカッション、ディベート等)	○																								
D: グループワーク	○																								
E: プレゼンテーション																									
F: 実習、フィールドワーク																									
G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)	○																								
H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)																									
I: 反転授業																									
J: 外国語のみで行われる授業																									
K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業																									
実施形態	対面授業科目																								
実施形態について	<p>※本学では、授業科目を以下のとおり分類しています。</p> <p>対面授業科目 : 授業回数の全部あるいは授業回数の半数以上を対面で行う授業科目</p> <p>メディア授業科目 : 上記「対面授業科目」以外で、主にメディアで行う授業科目</p> <p>※上記実施形態と異なる授業回がある場合は、以下「授業計画」欄に記載しています。</p>																								

授業計画	第1回	ノーマライゼーション:ノーマライゼーションの概念【担当:伊関】
	第2回	健康と障害:障害に対する考え方(ICF)【担当:伊関】
	第3回	障がい者と法律:障害者権利条約までの経緯【担当:川内】
	第4回	障がい者と法律:障害者総合支援法【担当:伊関】
	第5回	地域生活の実際:べてるの家【担当:伊関】
	第6回	地域生活の実際:当事者研究【担当:伊関】
	第7回	地域支援の実際:地域支援者の実際:B型事業所【担当:伊関】
	第8回	地域生活の実際:アウトリーチ(ACT)【担当:川内】
	第9回	地域支援の実際:アウトリーチ(IPS)【担当:川内】
	第10回	障がい者支援:リカバリーの概念と実際【担当:斎藤】
	第11回	障がい者支援:ストレングスモデル概論【担当:斎藤】
	第12回	障がい者支援:ストレングスモデル各論【担当:斎藤】
	第13回	障がい者支援:社会生活技能訓練(SST)【担当:伊関】
	第14回	障がい者支援:元気回復行動計画(WRAP)【担当:伊関】
授業外学修 予習(事前学修)	各授業	次回講義の事前課題を随時課す。そのため、教科書や文献、書籍などの資料の熟読を望む。
	100分	
授業外学修 復習(事後学修)	各授業	本講義の発展的課題を随時課す。そのため、教科書や文献、書籍などの資料の熟読を望む。
	100分	
評価方法	講義に出席し、所定の課題を期日までに提出したのに対し、以下の基準により評価を行う。 講義態度(5%)、講義における課題レポート(15%)、定期考査(80%)	
教科書等	教科書は特に使用せず、適宜資料を配布する。希望があれば下記の書籍を貸し出します。 参考図書:「ICFの理解と活用」上田敏、萌文社 参考図書:「これならわかる障害者総合支援法」二本柳覚、翔泳社 参考図書:「リカバリーへの道」マーク・レーガン、金剛出版 参考図書:「ストレングスモデル」チャールズ・A・ラップ、金剛出版 参考図書:「ストレングスモデル実践活用術」萱間真美、医学書院 参考図書:「イライラとうまく付き合う介護職になる!アンガーマネジメントのすすめ」田辺有理子、中央法規 参考図書:「レッツ!当事者研究」向谷地生良、コンボ	
課題に対するフィードバックの方法	基本的、毎回、課題を課し、その課題をもとに解説を行う。	
その他	ノーマライゼーションは、一般的に「障害のある人が障害のない人と同等に生活し、ともにいきいきと活動できる社会を目指す」とされますが、実際には、「障害がある人を変える」という意味合いのみならず、健常者とともに生活ができるように、「周りが変わる」と言う視点も兼ね備えています。その理念を踏まえると、看護職は、基本的人権の擁護、社会保障、高齢者の生活の保障について考える必要があるため、この機会にしっかりと、その理念の正しい理解、その理念を実現する取り組みなどをともに学びましょう。	
授業担当者の実務経験の有無	実務経験 あり	
「授業担当者の実務経験の内容」および「実務経験を活かした授業内容」	伊関:看護職・心理職として医療機関・教育機関・児童相談所などの公的機関での実務経験を踏まえ詳しく解説する。 川内:看護職として医療機関・教育機関での実務経験を踏まえ詳しく解説する。 齋藤:看護職として医療機関・教育機関での実務経験を踏まえ詳しく解説する。	
ファイル		